

2020年5月1日

医療法人社団芙蓉会

理事長・院長 西村 勇人

## 二ツ屋病院の状況について

まず、新型コロナウイルス感染症の影響で亡くなられた患者様に対して、謹んでお悔やみ申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症を発症された患者様、職員、そのご家族に対して、一刻も早く回復されることを祈っております。

現在も、保健所と情報共有を図りながら感染拡大を防ぐため全力で対応しております。厚生労働省のクラスター班の方々とも協議をしましたが、明らかな感染経路については不明でした。ただし、当院で最初にPCR検査が陽性となった介護士が原因とは言い難いと考えられています。14日あたりに新型コロナウイルスが何らかの経路で当院に侵入し、それが伝播され、皆様に感染してしまったとの結論です。それ以上の詳細は不明です。

令和2年4月28日(火)までに全患者様、全職員の検査が終了したのですが、感染者は介護病棟中心ではあるものの、介護医療院に1名、1つの医療病棟に3名、もう1つの医療病棟に1名の陽性患者様が存在していました。これら介護医療院や医療病棟に勤めている職員は全員陰性でした。患者様の陽性について、どこから新型コロナウイルスが入り込んだのか、感染症専門の医師とも協議をしていますが、現段階では不明です。保健所、石川県にお願いして転院可能な患者様は県内感染症指定医療機関等への受け入れをお願いしております。

職員一同、感染を収束させるために努力しておりますが、現在、ガウン、手袋、アルコール消毒液などが不足しており、対応に苦慮しております。物品についてのご協力を頂ければ幸いです。

なお、当院職員の問題があります。当院職員の配偶者の会社からは、「家に二ツ屋病院に勤めている人が居るのであれば、自宅待機」という対応になっていることがあります。その職員が無症状で、PCR 検査陰性でも同様の対応になっております。そのため、当院では職員が寝泊まり可能な部屋を確保できるように動いておりますが、二ツ屋病院の職員ということで拒否される事実がありました。当院にて感染拡大を来した責任があることは重々承知ですが、このような対応をされてしまうと、現場で懸命に患者様に対応している職員の精神的ストレスが更に増大し、離職へとつながってしまいます。是非、皆で努力しているところです。お願いできる立場ではないかもしれませんが、何卒サポートの程、宜しくお願い申し上げます。

引き続き、保健所等と連携して対応していく所存です。

#### 【経過】

4月19日 看護系職員1名陽性

4月20日 入院患者様2名、看護系職員4名、事務員1名陽性

4月21日 看護系職員3名陽性

4月22日 入院患者様15名陽性

4月25日 入院患者様1名、リハビリ療法士1名、看護系職員1名陽性

4月26日 入院患者3名、看護系職員2名、清掃員1名陽性

4月27日 入院患者2名、看護系職員2名陽性

4月28日 入院患者3名、看護系職員1名陽性

4月30日 入院患者1名陽性